

住職の写真日記より【2月】 ※ホームページではカラーで見られます

4日で55歳になりました。2月はオリンピックに始まりオリンピックに終わった1カ月。メダル13個を獲った日本選手の活躍は素晴らしかったですね。感動しました。しばらくはオリンピックロスで寂しくなります。陽が少しづつ長くなり、春が待ち遠しいですね。



2日 トイレに蜂が

蜂が大の苦手、血の気が引きました。冬でもいるんですね。どこから入ったんだろう。



3日 元気でね

お寺にホームステイしていたマーちゃんとおツツ君、無事に祖国へ帰りました。



6日 今年も味噌作り

有志による手作り味噌、今年は32袋の大豆と麴を発注。1週間かかって仕込みました。



11日 叔母の見舞いに

母を連れて苦小牧の病院へ。比較的元気そうで一安心。早く退院できるといいです



12日 ホントによかったね

高梨沙羅さんの涙にこっちももらい泣きしてしまいました。銅メダル万歳!



16日 長沼警報寺前々住職

葬儀 99歳での往生。90歳過ぎても車を運転して出掛けるほどお元気でした。



21日 ご主人の33回忌

以前、地区委員も努めて下さっていた大川さんと。今年94歳、とてもお元気でしっかりされてました。



24日 銅メダルおめでとう

一番真剣に観ていたのが女子のカーリング。銅メダルを決めた瞬間は、鳥肌が立ちました。家族で応援してました。



私のお気に入り「裸の一万円札」

25年前、住職を継職した年に、ある檀家さんからお祝いにと。使わずにそのまま。「北の国から」の見過ぎ?

坊守の独り言

1月末日、地元のお店として営業してきた八百屋さん、魚屋さん、肉屋さん3店が閉店しました。

お寺の行事、法要の折にはいつもお世話になっていて、お寺の状況や雰囲気も理解してくれていたのので安心して食材を発注していました。

閉店を機にこれから報恩講をはじめとする「おとぎ」の食材発注に頭を悩ませます。お肉屋さんは、檀家さんということもあり、普段からよく利用させてもらっていました。野球好きのご夫婦ですので世間話は野球ネタが多く、息子の活躍も気にかけてくれました。お肉の増量や「これも食べさせて!」と頼んでいない美味しいお肉をサービスしてくれたりと大型スーパーでは味わえない人情、親しみを沢山顶戴しました。

営業日最終日、息子からのメッセージカードを添えて花束を届けました。長年地域のお店として頑張ってくれてありがとうございました。

